

教科目名 世界史 (History of World)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要		
世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して, 広い教養や知識を身につけ, 物事を多面的に考える力を養う. とくに, 現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を行う.		
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)
(1) 過去とのつながりを尊重しつつ, 現代を考える力を身につける. (定期試験)		
(2) 歴史を学ぶことで, 世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解する. (定期試験)		
(3) 世界各地の多様な歴史を重視し, 平和な世界をいかに築いていくべきかについて考える. (定期試験)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1	古代の中国	【理解の度合い】 ○古代の東アジア史, 南アジア史, 西アジア史について理解できる. ○前近代のヨーロッパ史について理解できる. ○キリスト教世界とイスラーム世界との関係について理解できる. ○東西文明の交流の歴史について理解できる.
2	古代のインド	
3	古代の西アジアとイスラーム文明	
4	古代ギリシアとローマ帝国	
5	中世ヨーロッパ	
6	モンゴル帝国	
7	大航海時代とアメリカの植民地化	
8	前期中間試験	【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説 明と清	【理解の度合い】 ○ヨーロッパの近代主権国家の成立について理解できる. ○革命などを経て形成されたヨーロッパの近代市民社会について理解できる. ○世界の発展とグローバル化の流れが理解できる.
10	オスマン帝国とルネサンス	
11	宗教改革と主権国家体制	
12	議会王政と大西洋の三角貿易	
13	アメリカ独立革命とフランス革命	
14	ナポレオンの帝国と産業革命	
15	前期期末試験	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	
16	イタリアとドイツの統一	【理解の度合い】 ○列強による帝国主義的な植民地支配の問題について理解できる. ○アジア諸地域と世界との関係について理解できる. ○アジア諸地域の近代化の動きについて理解できる.
17	南北アメリカ諸国の展開	
18	アジア各地の植民地化	
19	帝国主義の時代	
20	辛亥革命と第一次世界大戦	
21	ロシア革命とヴェルサイユ体制	
22	アジア諸地域の民族運動と世界恐慌	
23	後期中間試験	【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説 ファシズムの台頭	【理解の度合い】 ○現代史の流れが理解できる. ○資本主義圏と社会主義圏との関係について理解できる. ○多様化する世界の動きが理解できる. ○現在の世界の諸問題について理解できる.
25	第二次世界大戦	
26	冷戦の激化と緊張緩和	
27	多様化する世界と冷戦の終結	
28	EU と中東情勢	
29	地域紛争と現代文明の課題	
30	後期期末試験	
	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り, しっかり予習と復習をすること.	【総合達成度】
教科書	柴田三千雄ほか著『改訂版 世界の歴史 (世界史 A)』山川出版社	
参考図書	随時, 授業中に紹介する.	
自学上の注意	授業で次回の範囲 (頁数) を伝えるので, 教科書を読んで予習しておく.	
関連科目	日本史, 歴史学概説, 歴史学特論 I・II (専攻科)	
総合評価	計 4 回の定期試験の平均点によって評価する. 出席状況・授業中の態度により 10% を上限として減点する. 総合評価が 60 点以上を合格とする. 4 回の定期試験の平均点が 40 点以上 60 点未満の者には再試験を行うことがある. この場合の実施方法, 条件などは授業において明示する.	